

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立中小企業人材開発センター	所管課	産業人材課
所在地	甲府市大津町2130-2	設置年月日 (改築年月日等)	平成23年4月1日
管理方式	指定管理者(山梨県職業能力開発協会、平成23年4月1日~)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立中小企業人材開発センター設置及び管理条例		
設置目的	労働者の職業能力の開発及び向上を促進するため、中小企業の事業主等の行う職業訓練を支援するとともに、技能検定試験を実施するための施設として、中小企業人材開発センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	会議室(81㎡、24人)、第1~6研修室(54㎡、20~30人)、第7研修室(74㎡、30~45人)、実習室(81㎡、20人)、視聴覚室兼大研修室(192㎡、96~144人)、多目的実習場(全面400㎡、半面200㎡)		
主な業務内容	1 利用の承認に関する業務 2 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 3 その他、知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	県立産業展示交流館アイメッセ山梨
-------------------	------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	職業訓練	7,203	5,585	3,490	
	技能検定	7,334	4,958	4,705	
	その他	49,636	57,705	43,354	
	利用者数合計	64,173	68,248	51,549	
	目標値			66,000	60,000
	目標値設定の考え方			過去3か年の実績を基に、景気動向や震災の影響等を考慮して目標を設定	過去3か年の実績を基に、景気動向等を考慮して目標を設定
	対21年度比	100.0%	106.4%	80.3%	93.5%
	稼働率	57.2%	52.7%	42.0%	55.0%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	6,275,760	7,913,000	7,314,480	7,300,000
	指定管理者委託料	16,477,812	16,594,000	16,594,000	12,549,000
	その他	416,754	300,000	323,980	350,000
	収入合計(A)	23,170,326	24,807,000	24,232,460	20,199,000
支出	人件費	12,955,907	14,249,000	14,246,777	10,965,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	10,214,419	10,558,000	9,269,665	9,234,000
	(うち外部委託費)(B)	3,534,080	3,629,000	3,533,260	3,357,000
	支出合計(C)	23,170,326	24,807,000	23,516,442	20,199,000
収支差額(A-C)		0	0	716,018	0
外部委託比率(B÷C)		15.3%	14.6%	15.0%	16.6%
利用者一人当りの経費		0	251	322	209

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年6月～24年3月、実施方法:利用者へのアンケート、回答数:653人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設のサービス提供	92.7%	7.0%	0.0%	0.2%
②施設の整備状況	92.7%	6.3%	0.5%	0.5%
③職員の対応	96.0%	3.7%	0.2%	0.0%
④施設全体の満足度	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%
各項目の平均	93.8%	5.8%	0.2%	0.2%

利用者の意見	○視聴覚室の後方又は壁側にもう1つ時計があるとありがたい。 ○ワイヤレスマイクの予備電池を事前に用意して頂けると助かる。 ○冷房の利きが悪く暑かった。
利用者の意見への対応	○視聴覚室後方に壁掛けの時計を設置。 ○ワイヤレスマイクの予備電池を常備。 ○毎朝館内の窓を開け換気に努めているとともに、使用会場は利用される前に冷房を入れるなどして、対応している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	協定書で定められている「施設の維持に関する業務」に基づき、適正に業務を執行した。	協定書及び業務計画書に基づき、適正に実施されている。関係法令等を遵守し、安全で快適な施設管理に努めてほしい。
運営業務	運営方針である、労働者の職業訓練を支援するとともに技能検定を実施するための施設として、不備がないよう業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。
自主事業	運営方針に沿って企画し、階層別訓練やOA機器操作、資格取得等約50コース企画し、約600名が受講した。また、松の手入れ教室や塗装教室等の市民講座を企画実施し、約90名の参加があった。	事業計画書に基づき、適正に実施されている。今後も利用者ニーズに即した事業を実施してほしい。
利用状況	利用者数は前年比に比べ下回った。特に4月は東日本大震災の影響もあり利用者数が極端に少なかった。また、料金体系が変わったこともあり他施設との差別化が難しくなった。	東日本大震災や計画停電、その後の経済状況など、やむを得ない部分もあると思うが、PR活動等を積極的に行い、利用者増に努めてほしい。
収支状況	利用料収入は計画より下回った。経費の削減に心掛けた。特に電気代は前年度比の16%程度削減することができた。	計画には届かなかったが、昨年度を100万円以上上回る利用料収入を上げ、経費の削減でも成果を上げた。今後も、サービスが低下しないよう留意しながら効率的な運営に努めること。
利用者満足度	利用者へのアンケートでは約9割の方が満足したとの結果になった。満足ではないと答えた約1割の方にも満足して頂けるように今後も利用者の意見に耳を傾けて対応していきたい。	利用者の評価は概ね良好であり、意見に対して可能な限り迅速に対応していた。今後も、利用者のニーズ把握に努め、更なるサービス向上に努めてほしい。
運営目標の達成状況	利用者数は目標値の80.3%と低い値になってしまった。今後も利用者数の増加のため努力していく。 当初計画値より利用料収入は減少したが、運営に関わる支出の削減をすることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び事業計画等に基づき概ね適正に履行した。また、利用者ニーズを把握しサービスの向上に努めるとともに、経費削減の面でも成果を上げた。 しかし、東日本大震災という特殊事情はあったが、利用者数、利用料収入が目標を下回っているため、更なる利用者増加、稼働率向上に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成23年度より指定管理者として管理運営を始め、新たにホームページでの施設予約状況の公表やアンケートに基づく業務改善など、利用者サービスの向上に努めた。 今後は、ポイントカードを導入するなどより一層のサービス向上に努め、利用者の満足度を上げる事により、リピーターを増やすと共に、利用者の新規開拓にも力を入れていきたい。	

7. 管理体制(組織図)

